

## 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年10月29日

上場取引所 東

上場会社名 愛光電気株式会社

 コード番号 9909 URL <http://www.aiko-denki.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 近藤 保

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 大関 正一

TEL 0465-37-2121

四半期報告書提出予定日 平成25年10月30日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第2四半期の業績(平成25年3月21日～平成25年9月20日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	4,728	2.6	39	524.1	41	424.3	16	—
25年3月期第2四半期	4,606	△5.3	6	△66.0	7	△62.6	△3	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	3.66	—
25年3月期第2四半期	△0.71	—

平成26年3月期第1四半期より「仕入割引及び売上割引に関わる会計方針の変更」を行っております。詳細は添付資料3頁「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」会計方針の変更をご参照ください。なお、平成25年3月期第2四半期の数値につきましては当該会計方針の変更を反映した遡及適用後の数値を記載しております。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	5,331	1,886	35.4	430.68
25年3月期	5,366	1,879	35.0	429.05

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 1,886百万円 25年3月期 1,879百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	円 銭	
25年3月期	—	0.00	—	3.00	円 銭	3.00
26年3月期	—	0.00	—	—	円 銭	—
26年3月期(予想)	—	—	—	5.00	円 銭	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年3月21日～平成26年3月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,470	5.9	105	13.7	100	5.9	45	—	10.27

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成26年3月期第1四半期より「仕入割引及び売上割引に関わる会計方針の変更」を行っております。詳細は添付資料3頁「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」会計方針の変更をご参照ください。なお、通期の増減率につきましては平成25年3月期実績を当該会計方針の変更を反映した遡及適用後の数値を用いて算出しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

詳細は、添付資料3頁「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」会計方針の変更をご参照ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	4,411,000 株	25年3月期	4,411,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年3月期2Q	30,563 株	25年3月期	30,145 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	4,380,628 株	25年3月期2Q	4,381,382 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対するレビューを実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。業績予想に関する事項については2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
会計方針の変更 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第2四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政権交代後の経済・金融政策に対する期待感から、円安や株価の上昇など景気回復に向けた動きが見られたものの、雇用情勢や所得環境など実態経済の本格回復には至らず、株価上昇後の調整局面が長引くなど、景気の先行きは不透明な状況で推移いたしました。

電設資材卸売業界におきましては、LED照明、太陽光発電システム等の省エネ関連商材に活況が見られるものの、全体的には設備投資が本格的回復に至らず厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社においては4月に展示即売会「AIKOフェスタ2013」を実施いたしました。結果、当第2四半期累計期間における売上高は4,728百万円(前年同期比2.6%増)となりました。

利益面につきましては、収益増に伴い、営業利益39百万円(前年同期比524.1%増)となり、経常利益41百万円(前年同期比424.3%増)、四半期純利益は16百万円(前年同期は四半期純損失3百万円)となりました。

## (2) 財政状態に関する定性的情報

## ① 財政状態の分析

当第2四半期会計期間末の総資産は5,331百万円となり、前事業年度末に比べ35百万円減少いたしました。流動資産は4,412百万円となり、33百万円減少いたしました。主な要因は現金及び預金の増加と、売上債権の減少による差額です。固定資産は919百万円となり、1百万円減少いたしました。主な要因は投資有価証券の時価評価増と、固定資産償却による減少との差額です。

当第2四半期会計期間末の負債合計は3,445百万円となり、前事業年度末に比べ42百万円減少いたしました。流動負債は仕入債務等の減少により3,225百万円となり、前事業年度末に比べ63百万円減少いたしました。固定負債は前事業年度末に比べ21百万円増加しております。

これらにより当第2四半期会計期間末の純資産の部は1,886百万円となり、前事業年度末と比べ6百万円増加いたしました。

## ② キャッシュフローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前事業年度末と比べて383百万円増加し、1,324百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は400百万円(前年同期は669百万円の増加)となりました。これは主に売上債権の回収によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は4百万円(前年同期は12百万円の増加)となりました。これは主に販売管理システムの改修によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は12百万円(前年同期は13百万円の減少)となりました。これは主に配当金の支払いによるものであります。

## (3) 業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成25年7月25日発表の数値と同じであり、変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### 会計方針の変更

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成25年3月21日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更による影響は軽微であります。

(仕入割引及び売上割引に関わる会計方針の変更)

従来、商品の仕入代金現金決済時に受取る仕入代金の割引については、営業外収益の仕入割引として処理し、売上代金現金決済時に支払う売上代金の割引については、営業外費用の売上割引として処理していましたが、第1四半期会計期間より、仕入控除項目及び売上控除項目として売上原価及び売上高に含めて処理する方法に変更致しました。

この変更は、適用される仕入割引及び売上割引の割引率と市場の実勢金利との乖離が長期化し、金利としての側面が薄れ、その実態が商取引上の値引きに事実上相当していること、及び、適切な流通価格の形成を目的とした構造改革の一環として、第1四半期会計期間よりこの取引を営業所単位の営業損益管理に折り込むよう経営管理方法を見直したことから、経営環境の変化と取引実態に即した、より適正な経営成績を表示するために行ったものであります。

当該会計方針の変更は遡及適用され、前年同四半期については遡及適用後の四半期財務諸表となっております。この結果、遡及適用を行う前と比べて、前第2四半期累計期間の売上総利益が42,670千円増加し、営業損失36,267千円から営業利益6,402千円となっております。また、経常利益および税引前四半期純利益への影響はありません。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月20日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	940,303	1,324,291
受取手形	1,435,798	1,357,874
売掛金	1,733,057	1,384,394
商品	284,754	279,669
その他	94,538	93,280
貸倒引当金	△41,802	△26,839
流動資産合計	4,446,650	4,412,671
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	194,889	190,871
土地	325,930	325,930
その他(純額)	24,303	19,548
有形固定資産合計	545,122	536,350
無形固定資産	34,354	34,473
投資その他の資産		
投資有価証券	46,900	53,121
その他	353,082	362,587
貸倒引当金	△59,110	△67,420
投資その他の資産合計	340,872	348,288
固定資産合計	920,348	919,112
資産合計	5,366,999	5,331,783

(単位:千円)

	前事業年度 (平成25年3月20日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月20日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	459,531	317,353
買掛金	826,676	789,786
電子記録債務	—	72,283
短期借入金	1,800,000	1,800,000
賞与引当金	54,000	48,600
その他	148,102	197,088
流動負債合計	3,288,310	3,225,112
固定負債		
退職給付引当金	136,670	154,649
役員退職慰労引当金	62,392	65,464
固定負債合計	199,062	220,113
負債合計	3,487,372	3,445,226
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	611,650	611,650
資本剰余金	691,950	691,950
利益剰余金	574,812	577,692
自己株式	△9,201	△9,307
株主資本合計	1,869,210	1,871,985
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	10,415	14,572
評価・換算差額等合計	10,415	14,572
純資産合計	1,879,626	1,886,557
負債純資産合計	5,366,999	5,331,783

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年3月21日 至平成24年9月20日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年3月21日 至平成25年9月20日)
売上高	4,606,877	4,728,206
売上原価	3,846,560	3,929,207
売上総利益	760,317	798,999
販売費及び一般管理費	753,914	759,037
営業利益	6,402	39,961
営業外収益		
生命保険配当金	693	707
その他	6,875	5,134
営業外収益合計	7,569	5,841
営業外費用		
支払利息	4,628	4,271
その他	1,433	55
営業外費用合計	6,061	4,326
経常利益	7,910	41,476
特別利益		
投資有価証券売却益	—	1,038
特別利益合計	—	1,038
特別損失		
投資有価証券売却損	13,977	—
特別損失合計	13,977	—
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△6,066	42,514
法人税、住民税及び事業税	4,195	32,902
法人税等調整額	△7,152	△6,410
法人税等合計	△2,956	26,491
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△3,110	16,022

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年3月21日 至平成24年9月20日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年3月21日 至平成25年9月20日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△6,066	42,514
減価償却費	20,993	14,557
退職給付引当金の増減額(△は減少)	4,972	17,979
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△2,348	3,072
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4,024	△6,653
賞与引当金の増減額(△は減少)	△42,006	△5,400
受取利息及び受取配当金	△1,891	△1,849
支払利息	4,628	4,271
投資有価証券売却及び評価損益(△は益)	13,977	△1,038
売上債権の増減額(△は増加)	904,200	426,586
たな卸資産の増減額(△は増加)	12,260	5,085
前払費用の増減額(△は増加)	△697	2
未収入金の増減額(△は増加)	33,412	△6,962
その他の流動資産の増減額(△は増加)	1,726	△3,049
破産更生債権等の増減額(△は増加)	△8,634	△4,206
仕入債務の増減額(△は減少)	△226,874	△106,784
未払金の増減額(△は減少)	853	8,768
未払費用の増減額(△は減少)	△5,040	△1,080
未払消費税等の増減額(△は減少)	3,024	797
預り金の増減額(△は減少)	161	△363
その他	△6,063	8,131
小計	696,564	394,378
利息及び配当金の受取額	1,954	4,089
利息の支払額	△4,665	△4,242
法人税等の支払額	△24,559	△866
法人税等の還付額	—	7,387
営業活動によるキャッシュ・フロー	669,293	400,745
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△4,058	△1,451
無形固定資産の取得による支出	△1,382	△5,195
投資有価証券の売却による収入	16,022	1,438
投資有価証券の取得による支出	△161	△166
貸付金の回収による収入	1,571	558
その他	956	798
投資活動によるキャッシュ・フロー	12,947	△4,017
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△287	△105
配当金の支払額	△13,172	△12,634
財務活動によるキャッシュ・フロー	△13,459	△12,740
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	668,781	383,987
現金及び現金同等物の期首残高	608,720	940,303
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,277,502	1,324,291

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。